

「みんなでうんどうかい」のご参加ありがとうございました。お子様がたのあるがままの姿をおうちの方に見ただけで嬉しく思いました。

あの広いアリーナで臆することなく練習通りに、また練習以上の力を発揮することは、なかなかできません。おうちの方が、緊張を強いることなくお子様に接してくださったこと、また山田先生の親子体操で、おうちの方と一緒に「たのしい!」と感じながら、アリーナの環境に自然に溶け込んでいったのではないかと思います。職員も「できること」よりも「やろうとする意欲」を大切に準備を進めていきました。子どもと大人の力がひとつになった運動会でした。本当にありがとうございました。

そとあそびだいすき!!

長い夏がようやく終わろうとしています。

園庭での遊びができるようになることを、本当にうれしく思います。外遊びは、走る、しゃがむ、飛び跳ねるなどの動作を何回もするため、おのずと体力が付きましますし、「どこで何をして遊ぼうか」などの自由度も高いので、たくさんの刺激を受けながら自分から考えて動く力も伸びていきます。

私は、娘が幼稚園に入園するまでは毎日公園に連れて行き（連れていかれ）ました。着くなり素早く私のそばを離れ、滑り台、かけっこ、砂場、おままごとの葉っぱ探し、木の肌の観察など、まあよくもこんなに遊びを思いつくなあと思いながら、彼女のあとをついて遊んだことを思い出します。家に戻ると、外での遊びが家での遊びにつながり、おしゃべりに花が咲きました。お子様がたの外遊びが様々に広がっていくことを楽しみにしています。

一方、今年は暑さのため外遊びができなかったもので、ホール遊びの様子から気づきがありました。ブロック遊びや積み木遊びをしている年長、年中のお子さまを見ていると「高い、低い」「同じかたち」「あと二つ」「もう一つ」などの数の基礎語を頻繁に使っていました。また、年少さんはパズル遊びをしながら「(形が) ちがうよ」「一番上、下」などの言葉を使っています。遊びを通して五感を刺激しながら数や形の感覚が磨かれていると改めて感じました。



バトン渡しが難しい



リレーは…



はい!

↑一番高いところにおいっ

顔に見えてきた

→なんだか



とんとんとん

くちいさなたいこ

どーんとん

↑おおきなたいこ